

☆日本の農業・林業・漁業とその変化 Part2(教 P158~159)

組 9 番 氏名: 後藤 連

◎本日の問い

日本の漁業・林業の特徴や課題は何か

1. 日本の林業

Q.森林(木)があるとどんないいことがあるのか。思いつく限り書き出そう!

・土砂くずみをはげめる
・資源になる

Q.現在林業が抱えている課題はなにか。空欄を埋めよう!(資 P130)

○日本の林業従事者の数は年々(①減少)し、特に(②若い)世代の数が減っている。

○1960年と比較して、木材の(③輸入木材)の供給量が増えていることから、自給率も(④減少)傾向にあったが、近年やや持ち直している。

Q.日本の林業の課題が続くとどんな悪影響が出るかをまとめよう。

考える視点)環境問題、災害、漁業、花粉症などなど

・木(すきない)が多すぎて、花粉がやばい。
・土砂災害のリスクが増える。
・温暖化が進む。

2. 日本の漁業

Q.スシローやくら寿司などの回転寿司はなんで安いのか?予想してみよう!

△スシローが魚を安くして、それを直接店にはくいてる。→会社に専属契約
→他の業者と使わない。①・外国から輸入
②・養殖
③・お母の大きさも小さくする。

★近年では、多角的な水産業に変化している!

(⑤養殖業):最初から最後までいけす・いかだで育てる。

(⑥栽培漁業):子ども(稚魚、稚貝)まではいけすなどで育てる。その後海へ。

☆日本の商業・サービス業(教 P162~163)

組 9 番 氏名: 後藤 連

◎本日の問い

なぜ日本は第三次産業の割合が大きいのか

1. 産業別の割合

Q.教科書 P162より産業別人口の変化を読み取ろう。

・日本では、1970年と2015年を比べて、第三次産業の割合が増え、他は減っている。
・先進国(アメリカなど)は、第三次産業の割合が大きい。

★(先進国 or 発展途上国)ほど第三次産業の割合が大きい!

Q.なぜ、日本では第三次産業の割合が増えたのか。

動画をみて空欄を埋めよう!(その他のメモはノートの上側に!)

○人々の生活や嗜好が(I多様化)している。
○貿易で生じるトラブル(II貿易摩擦)が発生
→海外に工場が移転することで、(III産業の空洞化)が起こる。
○第一次産業で貿易の(IV自由)化が進み、価格の安い農作物が輸入される。

2. 都道府県別の割合

○基本的には(都会 or 田舎)の方が第三次産業の割合が高い。

→しかし例外がある。

Q.なぜ、この県は都市部並み、もしくはそれ以上に第三次産業の割合が大きいのだろう。

・観光場所以外は有名なサービス業などの第三次が多い。
・沖縄県は小さいから、その分少ない店の数で割合が多くなる。

→第一次、二次を作る面積がないから、必然的に第三次が多くなる。

第一次
第二次
第三次
産業
農業
漁業
その他